

事業者からの意見・提案一覧

平成30年8月31日

独立行政法人日本学生支援機構

【意見招請番号7】日本留学試験（第1回及び第2回：モニター試験）試験実施委託業務

項番	カテゴリ	意見・提案	回答
1	仕様書等について	本試験同様、会場確保は機構が行い、会場使用料・光熱水量他各種経費（清掃費、電話/FAX（インターネット）回線設置・使用料、警備費、これらに伴う人件費、並びに立替払いを行うための振込手数料等）の支払いを受託者が立替払いにするか、少なくとも会場使用料については機構が直接支払うことが望ましい。なお、会場によっては本試験の幹事校となっている場合、機構を通じた借用依頼でなければ受託者が直接借用依頼をすることができない場合がある。	受託者自身が立地や経費を勘案したうえで会場を確保することにより、効率的な業務の運営、適切な経費の計上が可能となると考えておりますため、ご意見をいただきましたが、仕様書どおりといたします。
2	仕様書等について	大学1年～2年生で文系・理系のバランスを整えることのハードルは高いです。また、謝金8,000円程度では今の学生を集めることが難しいです。10,000円は必要です。	受験者については、これまでも原則として大学1年生、集まらなければ2年生も含める、としていたところを、平成30年度から、受験を目指している者（浪人生など）も可とし、対象範囲を広げました。予備校生を対象に募集もできるようになったこと、また、それぞれ1,000人～1,500人と募集の幅を持たせていることから、文系・理系のバランスは整えやすくなったと考えています。大学入試レベルの学力の日本人学生をモニターとしたいため、学部高学年まで広げてしまうと目的と異なってしまうことをご理解いただきますようお願いいたします。また、謝金額については、世間相場を考慮しながら今後も検討していくこととします。

3	仕様書等について	当日の運営につき強みのある弊社におきましては、業務委託内容を「受験者募集」と「当日運営」に分けていただきたく要望いたします。	受験者募集については、当該業務を適正に遂行できる事業者との共同事業体を組織したり、また、一定の範囲内で当該業務を再委託することも可能ですが、ご意見に基づき、「受験者募集」と「当日運営」の各業務を分割することを検討いたします。
4	入札等の日程について	会場が確保できない状態で積算することになるため正確な見積金額を折り込む事ができない。本来、会場確保は実施日の1年前から行うのが理想であるが、現在の入札スケジュールでは特に6月試験の確保が困難である。	会場確保に支障のないよう、入札の公示時期を早めるよう努めます。
5	入札等の日程について	提出書類については、手交に限らず郵送でも可能にしてほしい。現在のスケジュールでは、入札説明会・提出書類の提出・入札と約1週間の間に3日間訪問する必要がある。	事前提出書類については内容等を確認したうえで受領することとしているため、本件についても調達担当部署への持参による提出を原則としていましたが、事業所等が遠方にある事業者等一定の事情のある場合は、事前提出書類の受取方法及び不備等への対応を図ったうえで、郵送等による提出が可能かを検討いたします。
6	提出書類等	過去にこの案件を受託したことがあり実績・経験とあるにもかかわらず「モニター試験実施計画書」を作成・提出するのが正直に申し上げて面倒くさいです。数千万～数億円規模の案件ならまだしも。	「モニター試験実施計画書」については、試験実施運営に係る仕様書で求める要件の確認のため、ただちに廃止することは難しいが、応札者に負担のかからないよう記載内容について検討いたします。